

令和4年度 大腸がん検診精度管理調査結果（市町）

【調査の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられています。その点から、がん検診の精度管理はきわめて重要です。この調査は、香川県がん対策推進協議会大腸がん部会が、香川県で大腸がん住民検診を行っているすべての市町に対して、精度管理が適切に行われているかどうかを知る目的で行ったものです。香川県がん対策推進協議会に関しては[（香川県がん対策ホームページ協議会のページ）](#)をご覧ください。（注：職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。）

【調査の対象】

この調査の対象は、香川県で大腸がん検診（集団検診及び個別検診）を行っているすべての市町です。香川県では、全市町で大腸がん検診を実施しています。

【調査の種類】

調査は「がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査」と「精度管理指標数値の調査」の2種類を実施しました。

【調査の概要、及び調査結果】

調査1. がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（令和4年度の検診体制）

《調査内容》

大腸がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、市区町村用チェックリストとして整理されています。このチェックリストは平成28年に大幅に改定され、それまでの集団検診に加え、個別検診も同時に点検できるようになりました。

今回の調査は、平成31年に改定されたチェックリストを利用し、その遵守状況を調査したものです。

《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町用チェックリスト56項目です。

評価基準は以下の7段階評価とし、香川県では「C」以下の市町には改善をお願いしています。

- A：チェックリストをすべて満たしている
- B：チェックリストを一部満たしていない
- C：チェックリストを相当程度満たしていない
- D：チェックリストを大きく逸脱している
- E：チェックリストをさらに大きく逸脱している
- F：チェックリストをきわめて大きく逸脱している
- Z：調査に対して回答がない

各カテゴリーでの遵守されていない項目数

カテゴリー	A	B	C	D	E	F	Z
非遵守項目数	0	1-7	8-14	15-21	22-28	29以上	無回答

《令和4年度大腸がん検診の調査結果》

市区町村	評価		市区町村	評価	
	集団	個別		集団	個別
高松市	未実施	B	土庄町	B	未実施
丸亀市	B	B	小豆島町	B	未実施
坂出市	A	B	三木町	B	未実施
善通寺市	B	B	直島町	B	未実施
観音寺市	A	B	宇多津町	A	B
さぬき市	B	B	綾川町	未実施	B
東かがわ市	B	未実施	琴平町	B	未実施
三豊市	B	B	多度津町	B	未実施
			まんのう町	B	未実施

評価基準		集団検診	個別検診
A: チェックリストをすべて満たしている	A	坂出市、観音寺市、宇多津町	
B: チェックリストを一部満たしていない	B	丸亀市、善通寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、琴平町、多度津町、まんのう町	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、三豊市、宇多津町、綾川町
C: チェックリストを相当程度満たしていない	C		
D: チェックリストを大きく逸脱している	D		

調査 2. 精度管理指標数値の調査（令和2年度分）

＜調査内容＞

市町に対して、受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応的中度の5種類について、調査しました。

＜評価基準＞

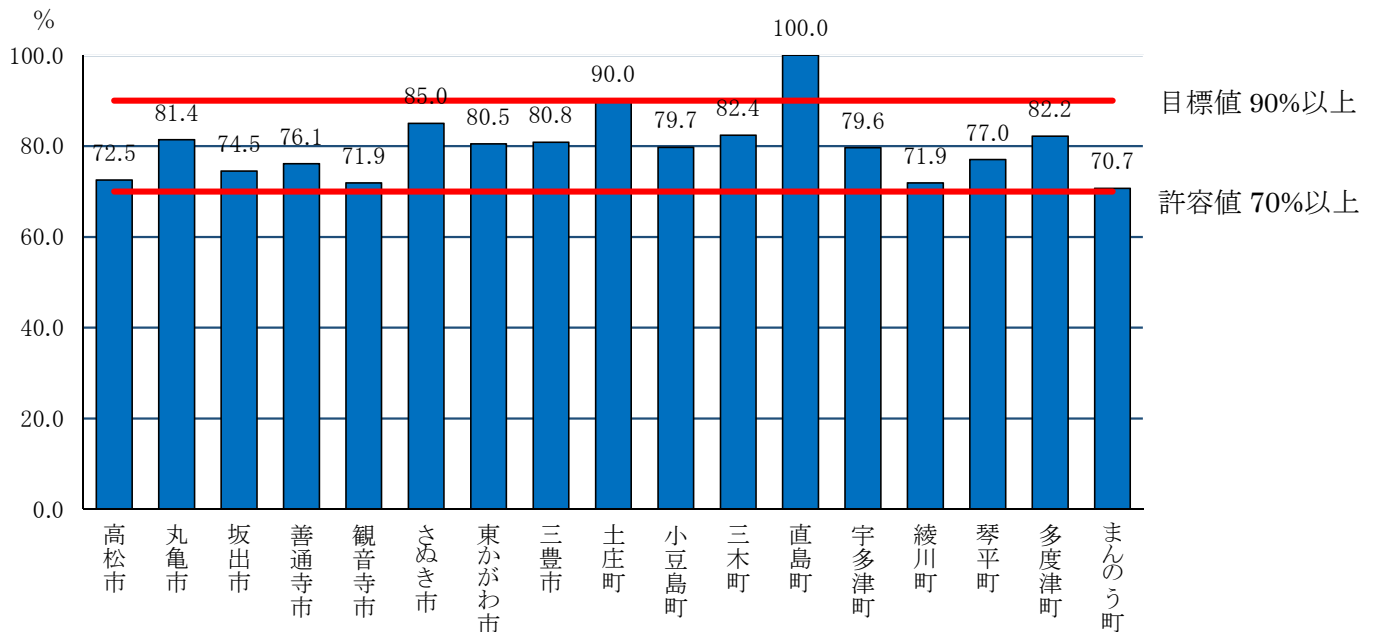
評価基準は、前述した厚労省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました（※）。

※要精検率、がん発見率、陽性反応的中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けますし、がん発見率、陽性反応的中度は小さな自治体は年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。

＜令和2年度大腸がん検診のプロセス指標の状況＞

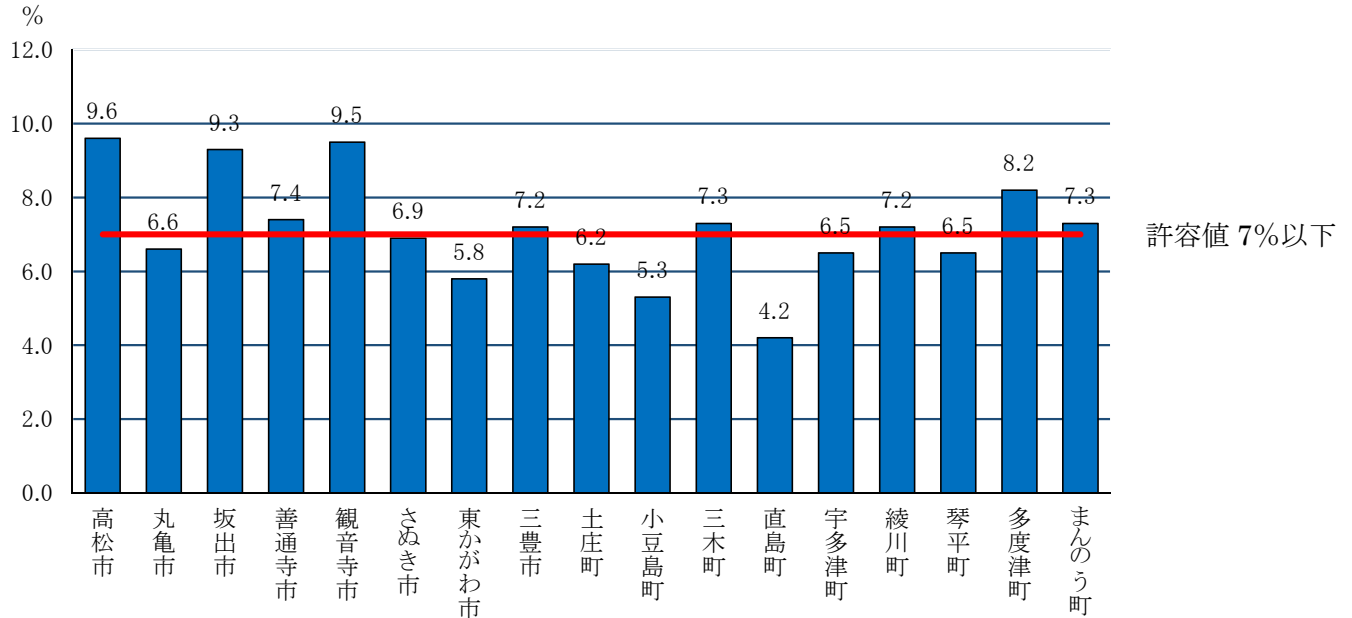
精検受診率

精検受診率は「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、100%に近い方が望ましい指標です。国立がん研究センターでは、精検受診率が70%未満の市町には、その理由の調査などをお願いすることとしています。その要否については各都道府県の判断に任されています。



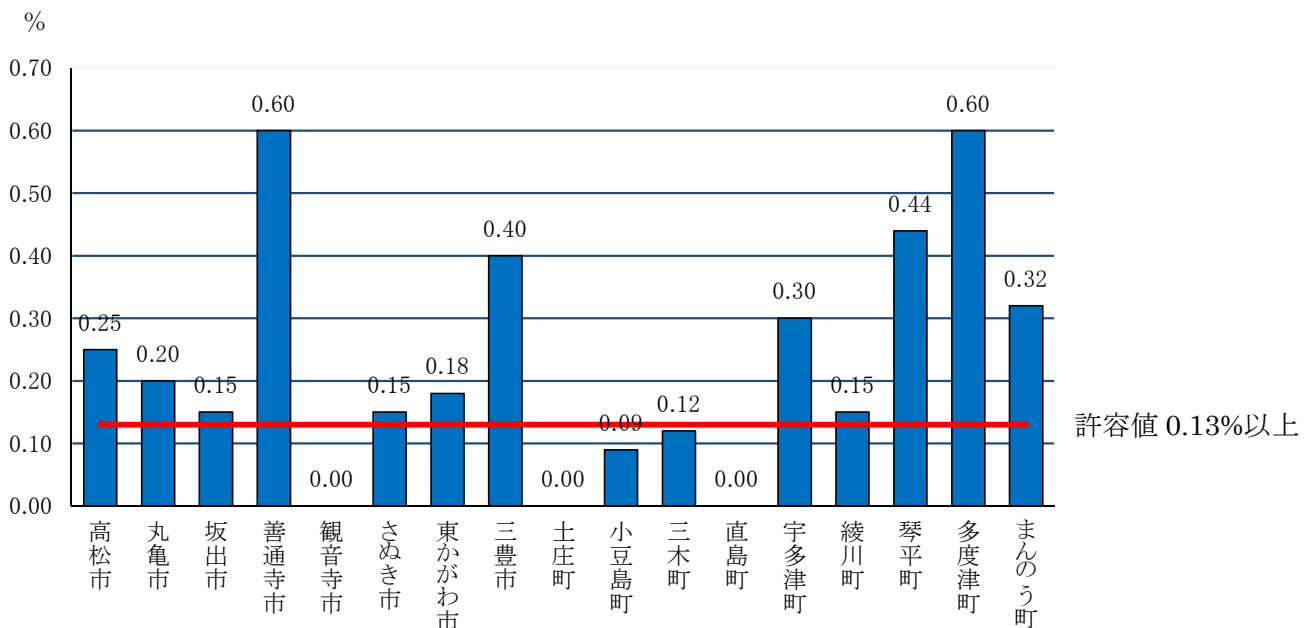
要精検率

要精検率は、受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は 7%以下（受診者 100 人中要精検が 7 人以下）とされていますが、大腸の病気が多い地区では高くなることもあります。



大腸がん発見率

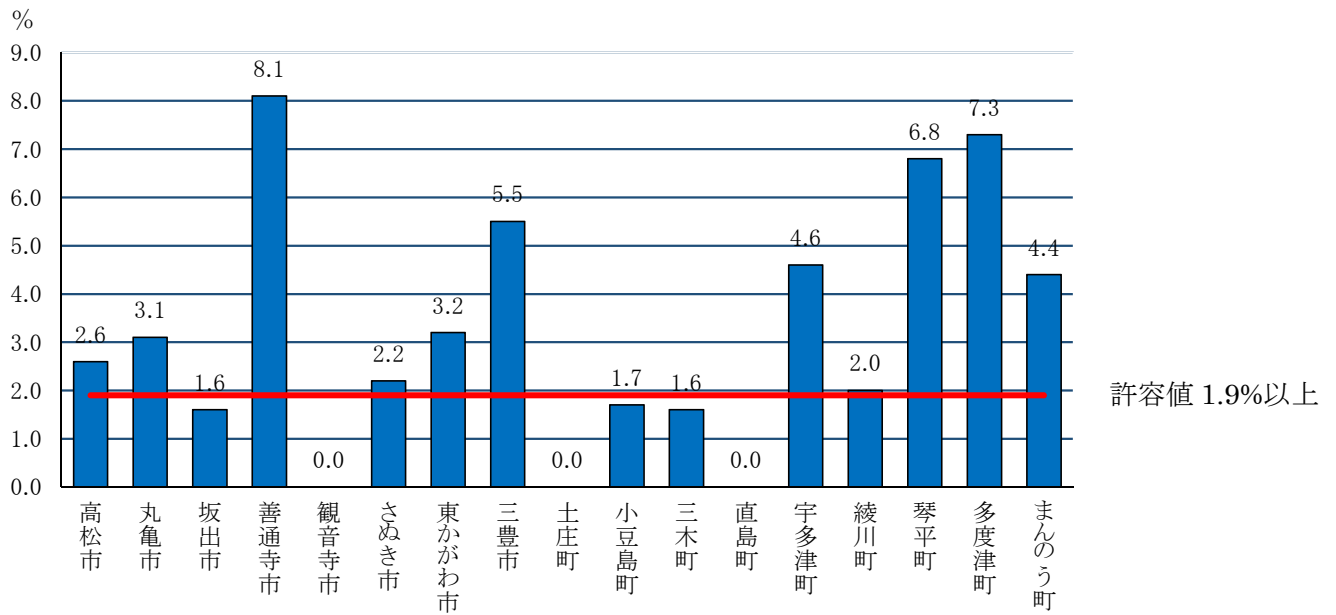
大腸がん発見率は、受診された方のうち大腸がんが発見された方の割合で高ければ高い方が望ましい指標です。許容値は 0.13%（受診者 1 万人で 13 例の大腸がん発見）以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。



※「観音寺市」「土庄町」「直島町」は調査対象年度である令和 2 年度において大腸がん発見者が 0 名でした。

陽性反応適中度

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に大腸がんがあった方の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は1.9%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。



※「観音寺市」「土庄町」「直島町」は調査対象年度である令和2年度において大腸がん発見者が0名でした。

(参考) 大腸がん検診の精度管理調査結果一覧

指標 (単位 %)	a	b	c	d
	要精検率 (要精検者数 / 受診者数 × 100)	精検受診率 (精検受診者数 / 要精検者数 × 100)	がん発見率 (がんであったもの / 受診者数 × 100)	陽性反応適中度 (がんであったもの / 要精検者数 × 100)
高松市	9.6	72.5	0.25	2.6
丸亀市	6.6	81.4	0.20	3.1
坂出市	9.3	74.5	0.15	1.6
善通寺市	7.4	76.1	0.60	8.1
観音寺市	9.5	71.9	0.00	0.0
さぬき市	6.9	85.0	0.15	2.2
東かがわ市	5.8	80.5	0.18	3.2
三豊市	7.2	80.8	0.40	5.5
土庄町	6.2	90.0	0.00	0.0
小豆島町	5.3	79.7	0.09	1.7
三木町	7.3	82.4	0.12	1.6
直島町	4.2	100.0	0.00	0.0
宇多津町	6.5	79.6	0.30	4.6
綾川町	7.2	71.9	0.15	2.0
琴平町	6.5	77.0	0.44	6.8
多度津町	8.2	82.2	0.60	7.3
まんのう町	7.3	70.7	0.32	4.4
許容値	7%以下	70%以上	0.13%以上	1.9%以上
目標値	—	90%以上	—	—

注) 上記の表の算定にあたっては、最新の数値を用いて算定しているため、地域保健報告の数値で算定した数値に一致しない場合もあります。

注) 「観音寺市」「土庄町」「直島町」は調査対象年度である令和2年度において大腸がん発見者が0名でした。